

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月20日(月)

事務事業		道水路用途管理事務		担当課	道路管理課	担当係	調査係	管理番号	4132	
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり	根拠法令 個別計画等	・深谷市法定外公共物管理条例 ・深谷市における道路敷地及び水路敷地の用途廃止申請事務処理要綱 ・深谷市における私道等の寄付受入れに関する要綱					
	小項目	1	道路・交通環境整備の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		道路及び水路敷地について、その土地に隣接する土地所有者からの申請に基づき、用途廃止及び付け替え等の事務処理を行うものである。 土地所有者からの私道等の寄付申し出に伴い、登記等の事務を行うものである。								
目的 ※何のために		路線の廃止及び道路区域の変更等によって不要となった道水路敷地の有効利用 道路周辺住民の生活環境の向上、一般交通の安全性を確保								
対象 ※誰・何を対象に		払下げ又は付け替えをする道水路敷地 要綱における条件を満たした一般の用に供する私道								
手段 ※どのように		申請に基づき、現地調査等を行い、用途廃止及び付け替えの事務手続きを行う。 寄付の申出に伴い、現地調査及び登記等を行う。								
成果 ※何を求めるか		不要となった道水路敷地の払下げや付け替え等により、土地の有効利用が図れる。 私道に関するトラブル等を未然に防止し交通安全に寄与する。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	8	土木費	1	土木管理費	1	土木総務費	寄附分筆測量事業	
本事業の 主な業務		・道路・水路の用途廃止					・			
		・寄附受入					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		寄附分筆測量事業と統合					
事業費	予算(現額)	787,000	787,000	364,000	0	296,000	296,000
	決算額	0	0	261,947	0	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	261,947	0	296,000
人件費	従事職員数(人)	1.46	0.85	1.10	1.25	1.72	1.72
	人件費相当試算※	11,357,340	6,614,700	8,647,100	10,185,000	13,350,494	13,985,919
総事業費試算		11,357,340	6,614,700	8,909,047	10,185,000	13,350,494	14,281,919

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	用途廃止及び付替え申請数	目標値	件						
		実績値		10	12	17	7	20	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請によるため、目標値の設定なし。 / 用途廃止台帳						
	実績値の算出式								
活動指標 2	寄附申請件数	目標値	件						
		実績値		38	21	29	31	33	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請によるため、目標値の設定なし。						
	実績値の算出式								
成果指標 1	申請に対する処理割合 事前 協議回答処理	目標値	%	100	100	100	100	100	100
		実績値		100	100	100	100	80	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		用地廃止又は付け替えの申請に対し、すべて処理をするため、１００％とする。 / 処理数／用途廃止及び付替申請数						
	実績値の算出式								
成果指標 2	申請に対する処理割合 事前 協議回答処理	目標値	%	100	100	100	100	100	100
		実績値		100	100	100	100	100	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		寄附申請に対し、すべて処理するため、１００％とする。 / 処理数／用途廃止及び付替申請数						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	用途廃止申請件数は、申請地に隣接する土地所有者に基づくものであり20件の申請であった。寄附申請件数は、33件の受理となっている。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	事務処理誤りもなく、当該年度において提出された用途廃止、寄附の事前協議においては適正な回答処理を行ったが、国、県、申請者との調整を要する申請については回答処理に向けて協議を進めている。
			評価者 調査係長 小林正行

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	用途廃止、寄附申請ともに事前に協議を行い、市から申請者へ回答を行うことで効率的に事務が行われている。
			評価者 調査係長 小林正行

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	道水路用途管理事務	担当課	道路管理課	担当係	調査係	管理番号	4132
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		「深谷市における道路敷地及び水路敷地の用途廃止申請事務処理要綱」、「深谷市における私道等の寄附受入れに関する要綱」に基づき適正に事務処理を行っており、特に問題が無いことから現状のまま継続としたものである。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者 道路管理課長 宮下昌規					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

